

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【公開番号】特開2006-42913(P2006-42913A)

【公開日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-007

【出願番号】特願2004-224665(P2004-224665)

【国際特許分類】

A 6 1 B 19/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/04 (2006.01)

G 0 2 B 21/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 19/00 5 0 2

A 6 1 B 1/00 3 0 0 B

A 6 1 B 1/04 3 7 0

G 0 2 B 21/24

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月18日(2007.7.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

観察画像を表示する画像表示部と、

前記画像表示部を、観察者の周囲に回動自在に支持する軸回りを含む略直交する三軸方向に移動調整自在に支持する支持手段と、

を具備することを特徴とする画像観察装置。

【請求項2】

観察画像を表示する画像表示部と、

前記画像表示部を、観察者の略頸椎上に位置する回動軸回りを含む略直交する三軸方向に移動調整自在に支持する支持手段と、

を具備することを特徴とする画像観察装置。

【請求項3】

観察画像を表示する画像表示部と、

前記画像表示部が回動自在に支持される第1の回動軸、及び該第1の回動軸に対して観察者を挟んで回動自在に配される第2の回動軸を有し、前記画像表示部を第2の回動軸回りを含む略直交する三軸方向に移動調整自在に支持する支持手段と、

前記支持手段の前記第1の回動軸を前記第2の回動軸の回動角に連動する連動手段と、  
を具備することを特徴とする画像観察装置。

【請求項4】

前記支持手段は、支柱と、この支柱に前記画像表示部を移動調整自在に連結するアーム部とを備えることを特徴とする請求項2又は3記載の画像観察装置。

【請求項5】

前記支柱及びアーム部は、少なくとも一方が複数部材を伸縮自在に連結して形成されることを特徴とする請求項3記載の画像観察装置。

**【請求項 6】**

観察画像を表示する画像表示部と、  
前記画像表示部を、観察者の略頸椎上に位置する回動軸回りに移動調整自在に支持する  
支持手段と、  
を具備することを特徴とする画像観察装置。

**【請求項 7】**

前記支持手段は、前記観察者が座る椅子に取付けられることを特徴とする請求項 1 乃至  
6 のいずれか記載の画像観察装置。